

第945回

定例教育委員会会議録

日 時 令和7年7月25日（金） 10:00～

場 所 保健センター 大ホール

益田市教育委員会

第945回 教育委員会定例会

招集年月日 令和7年7月25日（金） 10:00～

招集場所 保健センター 大ホール

議事日程

第1 会議録の承認について

第2 教育長報告

第3 議題

報第19号 教育ビジョン見直しにかかる教育審議会等の状況について

第4 その他

(1) 情報提供

(2) その他

出席者

教育委員会

教 育 長	領 家 芳 明
教 育 委 員	齋 藤 哲 瑯
教 育 委 員	原 田 笑
教 育 委 員	山 本 ひとみ
教 育 委 員	森 脇 達 也

事務局職員

教 育 部 長	藤 本 美 香
教 育 総 務 課 長	齋 藤 勝 義
教 育 総 務 課 参 事	加 田 睦 志
学 校 教 育 課 長	田 原 正 紀
学 校 教 育 課 参 事	杉 原 貴 宏
ひ と づ くり 推 進 課 長	岡 崎 健 次
文 化 振 興 課 長	田 中 一 史
美 都 分 室 長	澄 川 武 寿
匹 見 分 室 長	小 林 晃
教 育 総 務 課 長 補 佐	植 田 拓 也
教 育 総 務 課 主 任 主 事	木 東 地 志 緒 里

領家教育長 定刻となりましたので、ただいまから令和7年度第945回益
田市教育委員会定例会を開催いたします。
それでは議事に入らせていただきます。

第1 会議録の承認

領家教育長 前回定例会の会議録につきましては、委員の皆様には先ほど承認
いただきましたので、ご報告させていただきます。

第2 教育長報告

領家教育長 7月1日から本日に至るまでの私の予定が入っております
が、この中から3点ばかりご報告をさせていただこうと思っ
ております。

まず、最初にあります高津中学校学校訪問がありますよう
に、6月、7月のところで益田市内24校中12校の学校を訪
問してまいりました。今年度上期の訪問はこれから9月、10
月と考えているところですが、学校を核とした地域づくりの状
況について管理職や担当する先生方と意見交換をするというこ
とをテーマにして、私とそれから新たに教育委員会に着任した
事務局職員の方と2人で、初めて教育委員会で勤務していただ
く方にも学校の現状を見ていただこうと、あるいは校長等がど
のようなことを考えて学校を運営しているかということも含め
て訪問をしようと思って訪問しているところでございます。子
どもたちにとっては、学校を核とした地域づくりの中で多様な
方々と対話を通して価値観に触れる場がどれだけ提供できてい
るのか、それぞれの学校の地域の特性といったあたりで、学校
の状況についてお話を伺っております。

それから、学校を核とした地域づくりと聞くと、学校にとっ
ては、地域づくりで僕たちは何をやるのだろうという考えをお
持ちだと思いますが、学校の役割とはその中でどんなことなの
でしょうというのが、益田市内20地域ありますけど、20地
域それぞれに特性があるので、その中で小学校として、中学校
として地域にどのように関わっていくのか、学校にとってもも
ちろん地域の多様な方々と関わることがプラスにならないとい
けないと思いますし、地域の方も一方的にお世話をするだけ
ではなくて、その中でどんなことが地域にとっての活力になり、
地域づくりにつながるのか、そのためにどんなことを学校に果

たしてもらいたいのかについて意見交流できればいいなと思ひまして、そのような考え方をもとに意見交換を進めています。状況をお伺いしますと、特にコミュニティ・スクールを実施している学校は、濃密な連携があり、あるいは吉田小学校や高津小学校や益田小学校のような都市部の大規模校でどのような関わり方をしていくのかというあたりが、それぞれ模索されながら、でもそのよさを生かしている状況もたくさん伺いました。地域の方々とどう関わっていくのかだけでなく、地域の方々に喜んで参加していただくこと、あるいは隠れた人材を発掘していく等ですごく取り組んでおられる姿を見てきたので、これまで11年以来益田市が取り組んでいることが着実に実績を上げながら、それぞれのよさを生かしているというところにつながっていくのではないかなということ把握しております。後半、また9月、10月と訪問してまいりますので、気づいたことがあればお知らせをさせていただこうと思ひます。これが1点目です。

2点目は、7月7日、七夕の日に、今年も公益社団法人益田法人会の方々から益田市立図書館に図書を頂きましたので、その寄贈式に参加してまいりました。公益社団法人益田法人会からは、今回21冊の図書を益田市立図書館に送っていただいて、これで合計が723冊となりました。益田市立図書館では、益田法人会コーナーを設けて、それぞれ頂いた本を閲覧できるような形、それぐらい長い間続いているというものでございます。社会貢献委員会という委員会を持っておられて、地域貢献の活動の一環として行われているものです。今回は、21冊、調べ学習に使うもの、そして学校の課題のみではなく、個人が探求できるようなものにも対応できるような図書、それからこれまで多く頂いた分でもう更新が必要になっている図書は替えていくという理由から選書をいただいたと聞いております。あわせて、このほかに、それぞれの学校にも置くということで、今年は西益田小学校と益田小学校が該当校になって公益社団法人益田法人会から図書を頂いています。

あわせて、森脇委員も関わってくださっている益田市立図書館の読書感想文コンクールにつきまして、今年から賞品の提供等を公益社団法人益田法人会で頂きながら関わっていただくということも伺っておりますので、お知らせをいたします。これが2点目でございます。

3点目は、7月17日に第15回中国地区市町村教育委員会

連合会研修大会に益田市からは私だけが代表して行きましたので、その内容を少し報告させていただきます。岡山県倉敷市でありまして、2つの発表と、それから1本の講演を伺ってきました。発表の2つをご紹介しますと思います。

一つは岡山県玉野市の教育長さんの発表でした。玉野市は、人口的には益田市とほぼ変わらない状況の都市でございます。そこで、小学校が14校、中学校が7校、子どもたちの数が合わせて3,300人ぐらいですので、ほぼほぼ益田市と変わらないような大きさのところでございます。この玉野市でいろいろな活動を繰り広げておられますが、学校の適正規模について児童・生徒数が減ってまいりましたので、再編にわたる苦勞の話とか、それから玉野市が目指す学校教育やその課題等についてお話をいただきましたが、一番心に残ったのは、その中でチャレンジングな学校経営をしておられるという荘内中学校の話題を伺いました。某テレビ局がその学校について密着取材をして、こんなことに取り組んでいますというような番組ができていいる学校で、齋藤委員がよくおっしゃっておられる校則の問題を生徒に全部任せて自分たちで校則をつくる取り組みですとか、生徒がこんなことをやってみたいというようなこと、生徒会改革でもありますが、それを校長にプレゼンをして、そしてその中で優秀作品といいますか、これは面白そうだ、実際にやってみようと、生徒が主体で生徒がつくるような活動を中心に行っているそうです。校長の言葉を借りれば、「スクールメイキングサミットみたいなものを子どもたちとどんどんつくり上げていくような、そんな学びのスタイルを取っている。それによって、子どもたちの学びも、自分から進んでということにつながっている。」と言われていました。校長の言葉では、「学校を君たちに上げると宣言をして、生徒が主体の学校経営に取り組んでいる」と学校の説明を伺ったり、そのテレビの報道特集であった番組の一部を見せていただいたり、聞いてまいりました。

2点目は、広島県安芸郡海田町の教育長さんのお話を伺いました。海田町は、令和6年度から令和7年度までで児童・生徒数が40人増加している地域です。イメージとしては、とても狭い地域に家が密集しているという僕のイメージがありますが、小学校がその中に4校、中学校が2校というような学校で全生徒数が2,628人、教職員も250人ばかりいるような地域でございます。そこで、海田こども議会の取り組みを10

年以上継続しているということでした。益田市も議会事務局が中心に主権者教育に取り組んでいただいておりますが、ここではその議会の取り組みを海田町、海田町議会、海田町教育委員会による共同開催ということで、学校の総合的な学習の時間を活用した探究学習を一年間する中で、自分たちがいろんなことを学び、そして考え、それを議会に提案し、でも町にしてくださいと言うのではなく、自分たちで解決するような取り組みを最後に実践して振り返りもやるような、そんな総合的な探究を大切にすることも議会をしていますというお話をされました。それからなかなか町の予算も潤沢ではないので、海田っ子応援寄附金を創設して、いわゆるふるさと納税の子どもたち限定版というのを教育委員会で作って、自由に使えるお金みたいなことにも努力していますとお話を伺いました。

最後の講演は地元出身の方で、中世が専門の考古学の先生ですが、今は地震のことを研究している方でした。地震のことを調べるのに科学的な地層分析だけでなく、その当時に起こった中世の文献資料を読み解いていくことで当時地震が確実にあったことや津波が来たとか、そんなことに多様な分野の人たちが研究を重ねながら天災の防止に向けた取り組みがなされているというお話を伺いました。津和野町は教育委員さんも参加されておられましたが、全く行かなかった町村もありましたが様々な形で参加しておられましたので、またいろんなことができればいいなと思っております。私からは以上でございます。

続きまして、7月に頂きました寄附・寄贈について紹介させていただきます。先ほど報告いたしました公益社団法人益田法人会の皆様方から益田市立図書館へ21冊書籍を頂きましたので、ご報告をさせていただきます。以上、教育長報告と寄附・寄贈のことですが、皆さん方ご質問等あれば伺いますが、よろしいでしょうか。

第3 議題
報第19号
領家教育長

教育ビジョン見直しにかかる教育審議会等の状況について

それでは、これから議事日程第3議題に移らせていただきます。

本日の会議ですが、報告案件が1件ございます。

それでは、報第19号教育ビジョン見直しにかかる教育審議会等の状況について事務局より説明を求めます。

それでは、教育ビジョン見直しに係る教育審議会等の状況ということで、資料に基づきましてご説明をさせていただければと思います。まず、1番目教育ビジョンの見直しに向けてについてです。4月になります。第941回定例教育委員会では、教育ビジョンの見直しということで大まかなスケジュール、またその概要に関しましてご説明をさせていただいたところがございます。これに基づきまして、ビジョンの見直しに向けてということで、まずもって有識者等で組織をいたします教育審議会を立ち上げまして、益田市の教育が目指すべき方向性、そして進むべき道筋、こちらに関わる日程も6月2日の教育審議会に向け教育長から諮問をいただいた状況です。こちらに諮問事項について述べております。1点目につきましては、現在の教育ビジョンにおけるこれまでの取り組みに対する評価、そして2点目は、評価を踏まえた本市の教育が目指すべき方向性について、この2点につきまして諮問をいたしましたというところがございます。

また、この諮問事項を踏まえまして、その後第1回目の教育審議会を行い、現状のビジョンにある6つの重点項目にひもづく各課の事業の状況について説明をし、各委員から意見をいただいたところがございます。意見の内容ですが、1回目のところは、各課の説明もありましたけれども、欠席の方もおられましたが、それぞれの委員さんから様々な視点でご意見をいただく中で大幅に時間が超過した状況でございました。各課における事業またその事業に対する課題、実際には実績等のお話をしたところですが、やはり課題とか反省点、こういったものを整理することで、目標に対しての達成できなかった部分等の検証が行われてないというご意見をいただいたところです。また、細かい部分で言いますと、それぞれの重点目標の中で、気づく点等も含めて評価につながる意見も寄せられた状況です。

1回目の会議資料の中で実績等だけを中心に資料提出をしておりましたので、続いての2回目となります7月8日の教育審議会においては、そういった指摘を踏まえた課題、反省点を盛り込んだ追加資料をお出ししまして、それに基づいた評価等に向けた審議も行っていただいた状況でございます。この中では、追加資料を基に、重点目標の評価、これにつながる意見が寄せられたという状況でございます。改めまして、このいただいた意見等、次回開催に向けまして、これま

でも水面下で調査実施プロジェクトチームをつくって、子どもの実態調査につきましてもは教育委員のお二人の方々に入っただきまして、各課の代表とともに調整をしてきたところですが、それがまとまったものに対しまして教育審議会に説明をいたしまして、それぞれ6つの重点項目に付随する質問として44の調査項目をご説明し、この実施に向けた動きをさせていただくという了解をいただいたところです。次回開催に向けては、この実態調査の結果を踏まえまして、現時点の既存ビジョンに対しての評価、これにひもづくような流れのご意見等をいただき整理をしていく状況になっているところです。

2番目に、今ご説明をいたしました子どもの実態調査の概要を示しております。調査につきましてもは、ペーパー等で行うことなく、児童・生徒にICT端末を活用したフォームズを用いたアンケート形式で調査を行うことといたしました。対象は、実態調査後の子どもの対応が可能ということで、益田市内の小学5年生、中学2年生を対象として行っております。現在の児童・生徒数を計算しておりますが、5月1日現在で小学5年生が347名、中学2年生が391名、合計で738名になると思います。全国学力テスト・学習状況調査につきましても、小学6年生と中学3年生が対象となっておりますので、こちらに重複しない学年ということで教育審議会でも調整をいただき、この学年を対象としたという状況でございます。

3番目に、実施の期間を書いております。対象としましては、夏休みに入る前段のところになります7月14日から7月17日までの期間において各学校に協力をいただきながら実施をしたという状況でございます。調査結果については、この調査内容を集計するとともに、クロス集計等を行って正確に把握できるようにいたしまして、評価につなげていきたいと考えておるところです。本日25日でございますので、既に調査は終わっております。実際に、先ほど言いました738名に対しまして、現時点で634名、85.9%の回答をいただいている状況です。詳細につきましては、現時点、集計等を行っておるところでございますので、今後の定例教育委員会でもご報告をしてまいりたいと思っております。

今後のスケジュールです。次回の教育審議会の開催を9月29日に控えております。この教育審議会の中で、実態調査

の結果を集計したものをもち、委員の方からいただいた意見等を踏まえながら、既存ビジョンの評価につなげるために、今後進める方向性のポイントも含めて整理をしていきたいと思っています。子どもの実態調査につきましては、学校に協力いただきながら行って来たというところがございますので、この結果につきましては、単にビジョンの評価だけではなくて、今後の計画等の参考にもしながら活用していきたいと考えておるところでございます。説明は以上でございます。

領家教育長

それでは、ただいま説明した件につきまして、ご質問等あればお願いいたします。よろしいでしょうか。

森脇委員

先ほど3回目の教育審議会を9月29日開催と説明にありました。以前にも説明があったかもしれませんが、それ以降のおおよそのスケジュールを、何月何日という期日までがいいですので、もう一回ご説明いただけるとありがたいです。

齋藤課長

いま一度ご説明をさせていただければと思います。現時点、この策定の見直しのスケジュールにつきましては、実態調査までは終わっている状況です。先ほど言いました3回目の教育審議会が9月29日に行われます。この中では、実態調査結果と分析内容の確認を行いまして、さらに諮問に対する答申案の調整をしていきます。これが評価また今後の考え方というところのご意見をいただきながら整理をしてきたいと考えております。

その後ですが、日程調整中ですが、10月に4回目の教育審議会を開催予定としています。ここでは、答申に向けた最終調整に入っていくこととなります。この中に出てくる新たに見直しをするビジョンの中身に対しての考え方が具体的に出てくるというところとなります。こちらの整理を各委員さんとも最後の調整としてやっていきたいと考えております。その後ですが、状況によっては11月開催の5回目の開催を想定する必要も出てくることについても教育審議会の会長さんとも今お話をしている現状であります。以前の計画の部分に関しましては4回目までの開催ということでお話をしています。その後でございますが、おおむね12月のタイミングでは、教育審議会から市長への答申を行うことを考えているところです。答申をいただきましたところで見直し案の作成に入りまして、大体1月から2月までのところで見直し案に対するパブリックコメントを実施しまして、3月には

領家教育長

ビジョンが策定をされるという流れで進める予定になっております。以上です。

ありがとうございました。そのほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、この件については以上とさせていただきます。

それでは本日予定しておりました議事全てが終了いたしました。これをもちまして第945回益田市教育委員会定例会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。

= 終了時間 10時40分 =